

令和2年度 地域座談会（中丸自治会主催）の対応方針等

貴重なご意見やご提案をいただき、誠にありがとうございます。皆さまからいただいたご意見やご提案に対する回答は、町公式サイトにも掲載いたします。また、今後の町の施策や事業の推進、実行に生かしてまいります。

No	テーマ	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	広報まつだ等の配布方法及び閲覧状況について	<p>①現在の広報まつだ等の配布方法について、1回につき量が非常に多すぎる。もう少し数を減らしながら回覧なりを回してもらえないか。</p> <p>②サイズをなぜA4に出来ないのか。町は検討はしているが、もう2年くらい経つ。また、回覧の内容についても、別々に1枚1枚回覧しないで、広報のページが1ページ増えてもそちらに入れ込んでしまったほうが良いのではないか。組長は枚数を数えなければならないので、回覧などの数を減らしていただきたい。</p>	総務課 政策推進課	<p>【総務課】</p> <p>①広報まつだの配布方法の見直しに関しては、令和2年度においてアンケート調査などにご協力いただき、様々なご意見をいただいたところです。全戸配布については、2つの通知を両面刷りとし、広報紙や回覧との重複した内容を避けるといった取り組みを行っています。しかしながら、いまだ特に物量的なご負担が大きい点について、改善の必要性は強く感じているところです。改善の第一段階としては、年間をとおした配布予定を把握し、月ごとではなく早い段階で軽減余地を洗い出す体制を整えます。</p> <p>【政策推進課】</p> <p>②広報紙をA4版にすることでページ数が増えることにより印刷費が増えてしまうほか、「今までタブロイド版で綴じていたため、タブロイド版で継続してほしい」という意見もあるため、広報紙のA4版への変更は慎重に検討していましたが、より見やすい広報という視点や他自治体の広報紙を参考にしながら、令和3年度より試験的にA4版へ変更します。</p> <p>また、広報紙への情報集約についても自治会への負担が少なくなるよう引き続き工夫して取り組むほか、令和3年度には地域や協力業者との調整を実施させていただき、対象地域を決定した上でポスティング業者を活用した全戸配布を試験的に行い、本格的な導入の可能性を検証してまいります。</p>
2	町営住宅の跡地について	<p>町営住宅の跡地については、草がすごい。それを、町としては持ち主に全て返したからということではなく、もう少し面倒をみていただきたい。草のところに煙草でも投げ入れられたら大変なことになってしまう。町としてはどのように考えているのか。</p>	総務課	<p>本件については、緊急性に鑑み、地域座談会後に草刈りを行いました。</p> <p>今後は、町から地権者様に連絡して、土地の利用方法を確認しつつ、土地の維持管理について適正な管理をお願いしてまいります。</p> <p>また、刈った草の処理についても他の方の迷惑にならないよう地権者様をお願いしてまいります。</p>
3	町営住宅の跡地について	<p>町営住宅の跡地については、自治会としての対応、安全・安心という部分で、私が憂慮しているのが、不法投棄の場所という既成事実をつくらないために、週2回夕方カップを着てあの中を巡回的に見て回っている。</p> <p>私が直接地主さんをお願いすることはしづらいため、町の方で是非地権者の方に土地の適正な管理をお願いしていただきたい。</p> <p>また、草刈り後の草が枯れ、風でまってくるということなので、やはり刈って終わりではなく、刈ったものをきちんと処理してほしいというご意見もいただいております。それは管財係のほうに話をしている。枯れたあと肥料になるから刈りっぱなしでいいというような考えではなく、町の方で考えてほしい。</p>	総務課	<p>本件については、緊急性に鑑み、地域座談会後に草刈りを行いました。</p> <p>今後は、町から地権者様に連絡して、土地の利用方法を確認しつつ、土地の維持管理について適正な管理をお願いしてまいります。</p> <p>また、刈った草の処理についても他の方の迷惑にならないよう地権者様をお願いしてまいります。</p>

No	テーマ	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
4	若年層の自治会参加について	<p>①若い人が関心がないということで、私もふれあい相談員を9年ほどやったが、感じるのは年寄りが年寄りを看るといふ、そういうグループになってしまう。グループになってしまうと、どうしても後継者が出て来ない。後継者が出て来ないから消滅してしまうという事例を聞いている。</p> <p>自治会も同様で、町にある色々な団体もやはり高齢者が多く、色々な団体が同じ悩みだとすれば、40代、50代の人たちが5年、10年先のことで何か新しいアイデアはないか。1つの案として役場の中で、40代、50代だけの人を集めて、プロジェクトのような懇談をして、将来の自治会、団体をどうするのかというアイデアを出してもらいたい。</p> <p>②若い人が、今皆さんがやっている活動を知る機会というのがないと思う。40代、50代の方だけでなく、もう少し下の世代の人も入れて、話し合いに参加する場が少しでもあったら、若い人がもっと参加できるようになるのではないかな。</p>	総務課 政策推進課	<p>【総務課】</p> <p>①地域の方々が協力し合いながら住みよい環境を創造していくことに対し、次世代において将来に向けた検討を行っていくため、どういった手法が可能か地域担当職員制度等も踏まえた研究を行い、取り組めるものから導入してまいります。また、近隣の町では「地域リーダー育成研修会」といった実施を試みる動きもあり、併せて情報収集を図り取り入れていきたいと考えております。</p> <p>【政策推進課】</p> <p>②新たな情報発信の手段として、幅広い年齢層の方が利用されており、プッシュ型の情報発信が可能なSNS（LINE）の運用を令和3年4月から開始する予定としております。今後、庁内にて効果的かつ積極的な情報発信ができるよう設置した情報発信推進委員会を中心に、新たな技術等の導入も積極的に検討し、若年層に限らず、必要な方が必要な情報を取得できる情報発信の方法を検討し、導入してまいります。</p>
5	災害時の避難所確保 情報発信について	<p>①最近地球温暖化により、全国的に雨の被害、洪水などが非常に多発しており、ここは川も近く地域集会施設も避難場所にはなっているが、実際にこの自治会の環境を見渡すと頑丈な建物（上病院官舎）があるので、例えば避難する場合に事前にそのようなところと話を進め開放するとなれば少しは心の安心につながるので、町が調整を進めてほしい。</p> <p>災害時に避難するタイミングが分からず、遅れてしまった場合の被害というのが出てきてしまうため、事前の町の放送があれば良いが放送だと雨の音で聞きづらいし、全ての方がメールを使えるとも限らないので、その辺りの情報発信の徹底をしていただけると助かる。</p> <p>②避難情報が出た時に、それぞれの避難所への避難を手伝っていただけるボランティアさんを募ったところ、ゼロであった。</p> <p>実は今年、コロナ禍の予算を活用して、高齢者等災害時等避難支援助成制度というものを町で設けられた。これは、災害時に避難をしたい時にタクシーを利用し、そのタクシー代を助成する制度であり、私は、この制度を継続していただきたいと思っている。</p> <p>地域内には強固な建物もあるので、そちらの所有者との調整等も進めていただければと思う。</p>	安全防災担当室	<p>①河川の越水による避難場所としてご要望のありました足柄上病院宿舎につきましては、神奈川県と調整しましたが、施設管理上の問題もあり、施設居住者以外の使用は難しいと回答がありました。町では、避難所である町民文化センター若しくは松田小学校への避難について、早めに発信をしますので、自身の命を守る行動を早めにとっていただくよう広報等を通じて周知していきます。</p> <p>要介護者の避難支援の不足は全国的な問題です。現在、各自治会に地区防災計画の作成を願っているところですが、まずは地区の現状（要支援者の人数や程度）をしっかりと把握していただき、令和3年度より計画的に自治会へ訪問し、防災リーダー研修や地区防災計画等について定めてまいります。</p> <p>町からの情報発信については、令和元年度から2年度にかけ防災行政無線デジタル化改修工事を行ない、事業に併せ放送内容の聞き取りにくいご家庭で、戸別受信機の設置を希望されたご家庭に対し、機器の無償貸与を行っております。自主避難等のタイミングについては、早めに発信するようにしています。</p> <p>②高齢者等災害時等避難支援助成制度につきましては継続いたしますので、引き続き活用していただければと思います。</p> <p>地域内での強固な建物への避難場所の確保については自治会で検討していただき、必要であれば町に要望をお願いします。</p>